

学校教育目標	めざす子どもの姿	総合評価 (○) と 課題 (◇)
<かりがね精神> ・磨き合う知性 ・感じ合う心 ・鍛え合う身体 ・見つめ合う命	・自ら意欲的に学ぶ生徒 ・豊かな心を育む生徒 ・進んで身体を鍛える生徒 ・命を大切にする生徒	○学校教育目標は概ね達成されている。目指す子供の姿を意識した教育や生徒の自治活動が行われている。 ○長い目で子どもの成長を見守る姿勢が教師に根付いている。生徒の落ち着いた生活につながっている。 ○授業や生徒会において、与えられた課題については積極的に取り組む生徒の姿が見られる。 ○清掃や作業にも心を配って動くことができるような生徒の姿が増え、定着してきている。 ○健康教育、花作りなどの活動を通して、自分の健康や命を大切にする心が育っている。 ◇生徒が自ら計画し、自らの学力を高めていく学習習慣の定着を目指す。 ◇伝え合う活動の場面を意識して設定し、学習の深まりと定着を目指す。 ◇振り返りの場面を設定し、定着を目指すとともに、次の学習への意識を高める。 ◇自主性、自立の姿を育てていくことで、「めざす子どもの姿」に近づける。

○評価基準 ア…達成できた イ…おおむね達成できた ウ…やや達成できなかった エ…達成できなかった として調査し、下の式で全体評価を行った。
 (アの人数×4+イ×3+ウ×2+エ×1)×25=S (合計点) S≥85→A S≥75→B+ S≥65→B S≥50→C S<50→D

領域	今年度の重点目標 評価項目	評価の観点	○実績 (◇課題)	学校 自己 評価	関係 者の 評価	・改善策・向上策
教育活動	自分の考えをもち主体的に学ぶ授業	授業の始めに、子どもとともに学習課題を据え、板書する。	○前時のことを想起させ、生徒との会話の中から課題を決め出すことができた。 ○子どもとともに学習課題を据え、目に見える形で提示した。	A	A	・教室外の授業においても、ホワイトボードなどを活用し、学習課題を提示していく。 ・学習課題を生徒とともに設定し、確認する導入を、さらに確立していく。
		授業において、発表や話し合いなど自分の考えを伝え合い、学び合う場を設定しているか。	○話し合いや伝え合いの場を大切にし、個々の学力を高めることができている。 ◇話し合いの場の設定はしているものの、その内容の質に課題を感じている。	B+	B	・話し合いや伝え合いが、深い学力につながることをさらに、職員に広めていく。 ・日常的に話し合いの場の設定を心がけたい。 ・話し合いの質を高める指導について、情報交換の場を設定していきたい。
		授業に、振り返りの場面(自己評価・相互評価)を設定しているか。	○単元を通し、継続して振り返りを書く取組ができた。 ○学習課題に合った振り返りを工夫することができた。	B	B+	・授業終末での振り返りをさらに定着させたい。 ・学習カード記入のポイントを絞り、短時間で継続的な振り返りができるように工夫していく。
		授業内容と結びついた、主体的な家庭学習になるよう指導しているか。	○予習や復習に関係した課題を与えることができた。 ○宿題の内容を継続的に指示することができた。	B	B	・予習する必要がある場面と復習する必要がある場面を生徒とともに考え、気づかせる場面を設定していく。 ・漢字練習に偏らず、国語力を高める課題を工夫していく。
教育活動	伝え合い、認め合い、高め合う集団づくり	互いの違いを認め、自他共に大切に出来るよう指導しているか。	○仲間(友人)を大切にする事が、自分を大切にすることにつながることを折に触れ、伝えることができた。	B+	B+	・意見を求める問いに対して、様々な見方や考え方があることに気づかせていきたい。
		友達の考えや意見を真剣に聴けるような集団づくりをしているか。	○学年集会などの運営を生徒に任せ、支援していくことにより、仲間の発言を聴く姿勢を育てることができた。	B+	B	・生徒個々の特性を考慮し、内容を簡素なものにしたり、キーワードを意識しながら伝えたりする姿勢を育てたい。 ・話の聴き方の指導を生徒の立場に立って具体的に指示できるように工夫したい。
		集団の一員として、自主的・自律的行動ができるよう指導しているか。	○生徒会の活動が活発に行われ、集団の一員である意識を高めることができている。	B+	B+	・自主性と自律性を高める効果的な指導について、職員間で情報共有の場を設けていきたい。
		望ましい生活習慣が身につくよう指導しているか。	○SNSなどの危険性を継続的に発信することができている。 ◇適切な就寝時間への指導の必要性を感じている。	B+	B	・人権感覚やいじめに結びつく言動を見逃さず、教師や周りの生徒の感覚を育てていく。 ・望ましい生活習慣への指導を継続的にしていく。
		命を大切にするよう指導しているか。	○食育や安全教育を充実させることができた。 ◇3学期に計画されている性教育を充実させる必要がある。	A	A	・道徳や各教科を通して、命の大切さを考える機会を増やしていきたい。 ・薬物乱用教育と性教育の実施時期が重ならないように工夫したい。
		時間を大切にして部活動に参加できるよう指導しているか。	○集合時刻を意識して指導し、成果が出ている。	B+	B+	・活動の場に指導者がさらに寄り添える体制の工夫を進めていきたい。
学校運営	家庭や地域と連携した学びの場の創造	保護者と願いを共有した学校づくりに努めているか。	○学年通信などを有効利用し、保護者への発信や共通理解ができている。	B+	B	・さらにこまめに情報発信をし、保護者の了解をもとにした学校経営、学年経営を進めたい。
		地域と連携し、生徒に地域愛や活動で培う力が育つよう努めているか。	○食育など、保護者や地域の方々との連携が伝統となり、活発に行われている。今後も大切にしていきたい。	B+	B+	・保護者や地域の方々との連携を今後も大切にしていきたい。
		地域に開かれた、また、地域に信頼される学校づくりに努めているか。	○昇降口に設置しているサルビアが、地域の信頼につながっている。継続していきたい。	B+	A	・食育や農業体験など、地域と触れ合う授業を継続的に実施していく。 ・学校ホームページの活用を進めたい。
		小学校と連携した教育を進めているか。	○小中連絡会などで、子どもの情報交換が細かく行うことができた。	B	B+	・真田地区学校職員会や小中連絡会、特別支援学級の移行支援など、連携した教育を継続する。